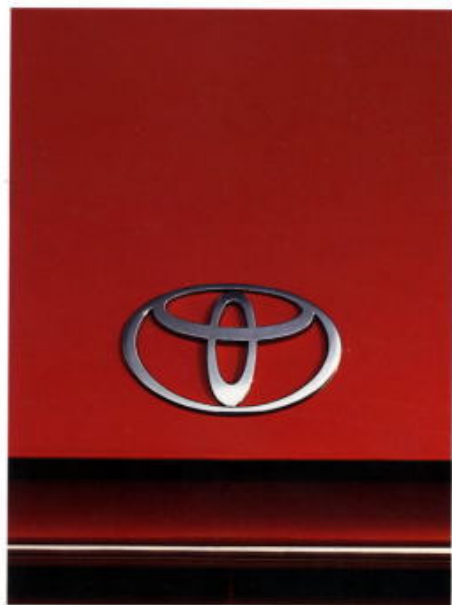




E S T I M A

Think Free



ヒトは、もっと楽しくなれる。生活は、もっと大きくできる。
あんなコトやれるかな、やりたいな、やってみよう。それが **Think Free**。
心の中の楽しいエネルギーが一気に爆発しそうな1990年代。
そんな世の中の気分先かけて、前身がない、お手本がない、
全く新しい発想から、突然、エスティマは生まれました。



（世の中がそうなら、クルマはこうです。）
突然、エスティマ。

ワンモーション・シェイプ これまでにない斬新なスタイルです。思い切ったフラッシュサーフエス化で、空力特性を高め（ $C_d 0.35$ / $25km/h$ ）、美しい曲線を創造しました。ダイナミックウェーブインパネなど、インテリアにも画期的なデザインを採用しています。
先進のメカニズムを搭載 新開発2.4LハイキャパインカムEFIエンジンをフロア下に35°スラントさせて搭載。ハンドリングにすぐれたミッドシップレイアウトと、新4輪独立懸架サスペンションの組み合わせにより、すぐれた操縦性・安定性を獲得しました。
はじめて体験する余裕のスペース ワークスルーが可能で、広くてフラットなフロアを実現しました。乗降性にすぐれた、シートポジションドア配置。美しい音を生み出すエスティマ・ライブサウンドシステムなど、隔世にまで新しい発想を注ぎ込みました。

新世代マルチサルーン
ESTIMA











engine type : 3900cc 4Cylinder
displacement : 2.0 liter
fuel system : EFI
(ELECTRONIC FUEL INJECTION)
bore and stroke : 95.0 × 80.0
compression ratio : 9.7
maximum power : 187 (135) ps / 5000 r.p.m.
maximum torque : 21.0 kg-m / 4000 r.p.m.
LASER CR 1.2TZ 16 VALVE

新開発、2.4 L レーザーα-II 2TZ16バルブを搭載。

ツインカム独特の

胸のすくような吹き上がりのよきに加え、

実用的な中・低速域でもすぐれた性能を発揮します。

点火時期の最適制御を行なう

ノックコントロールなど先進の技術を採用。

高出力・高トルクと、すぐれた燃費を両立しました。

エステマが採用した新ハイメカツインカムエンジンは、

エンジンの高さを両側同時に抑えた、

これまでにない斬新なレイアウトが特徴です。

ワイドでフラットなフロアを実現するために、

エンジン本体はフロア下に75°ラジテさせて搭載、

補機類 (ポンプ類など) をフロア下に配置し、

集中させた補機駆動システムを採用しています。

すぐれたサービス性も確保しています。

始動時にオイルパン内の油量を検知し、

リザーブタンクから自動的にオイルを補給する、

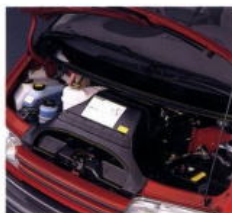
エンジンオイルオートフィーダーを新機構として搭載。

日常メンテナンス (オイル交換など) は、

フロントフードを開けて手軽に行なえます。

また、ヒューズボックスも、インパネ中央上部の

扱いやすい位置に設置しました。



フロントフード内部



PEGASUS

4輪独立懸架システム (フロントレイアウト) 4輪独立懸架システム (リアレイアウト)

新技術が、 安全で確かな走りを支えます。

新設計のサスペンションを採用し、

4輪ABS (防鎖死ブレーキ)、4輪ディスクブレーキを搭載、

ボデー剛性にも十分な配慮を施しました。

高い安定性を獲得する、卓越のサスペンション。

前輪には、新ジオメトリの

マクファーソンストラットサスペンション。

後輪にも新しく開発した、ダブルウィッシュボーン

サスペンションの4輪独立懸架方式を採用、

コンパクト化した新設計サスペンションによって、

フロアのフラット化を実現しました。

ロングホイールベース、ワイドトレッド化に加えて、

ミッドシップエンジンレイアウトによる

前後重量配分の最適化なども実現、

すばらしい乗り心地を保ちながら

ハンドリングのよさや、高い直進安定性・

操縦性を獲得しています。

4輪ABS (防鎖死ブレーキ) と4輪ディスクブレーキを搭載。

雪道や濡れた道など、滑りやすい路面での制動時にも、

単輪の回転状態を適切にコントロールする、

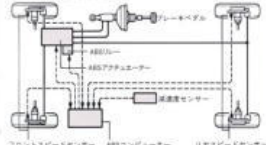
4輪ABSを搭載。これによって、

安定した制動力と高い操縦安定性を確保できます。

なお、前後輪ともにハイレベルな制動力を発揮する、

ベンチレーテッドディスクブレーキを採用しました。

4輪ABSシステム図 (レイアウトは4WD)



高剛性ボデーを採用。防錆性能もすぐれています。

ボデーの骨格となる部分の剛性にも、

十分な配慮を施して、

構造的にもきわめて強固なものに仕上げました。

防錆鋼板を積極的に採用することにより、

防錆対策にも力を注いでいます。



ベンチレーテッドディスクブレーキ



4WD
TOYOTA 400R



条件を選ばない頼もしい足。フルタイム4WD

差動制限装置として、

ビスカスカップリングを採用した、

センターデフ方式のフルタイム4WDを設定、

雪道や悪路でのすぐれた走破性はもちろん、

高速走行時やコーナリング時にも、

きわめて高い安定性を発揮します。

トランスミッションから伝えられる駆動力を、

前後の推進軸に効率よく振り分け、

コーナリング時には、前後輪間の回転差を吸収する

センターデフの働きでスムーズな走りを実現、

さらにビスカスカップリングが、

このセンターデフを走行状態に応じて制御し、

常に4輪に最適な駆動力を伝えます。

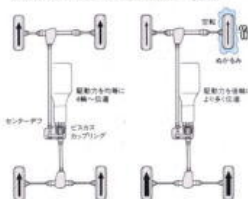
万一、4輪のうちいずれか1輪が、

ぬかるみなどで空転したような場合にも、

駆動力が有効に働くように最適に配分し、

脱出に必要な駆動力を確保します。

ビスカスカップリングによるセンターデフ駆動制御原理図 → 駆動力



機能も操作性も、一段と進化したECT (コラム)。

動力性能を高め、低燃費化もはかった、

電子制御式2ウェイ・OD付4速フルオートマチック

トランスミッション ECTを採用しました。

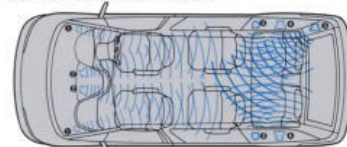


※2ウェイ・OD付4速フルオートマチックは、ギョウシ・トヨタ・モーター・システム・エンジニアリングが、
①2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、②2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、③2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
④2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑤2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑥2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
⑦2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑧2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑨2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
⑩2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑪2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑫2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
⑬2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑭2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑮2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
⑯2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑰2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑱2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
⑲2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、⑳2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㉑2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
㉒2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㉓2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㉔2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
㉕2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㉖2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㉗2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
㉘2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㉙2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㉚2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
㉛2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㉜2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㉝2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
㉞2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㉟2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㊱2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
㊲2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㊳2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㊴2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
㊵2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㊶2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㊷2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
㊸2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㊹2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㊺2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
㊻2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㊼2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㊽2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、
㊾2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、㊿2ウェイ・OD付4速フルオートマチック、

エスティマ専用のスピーカーレイアウトです。

エスティマ・ライブサウンドシステムは、徹底した音響解析に基づいて、9個のスピーカーを最適なポジションにセッティングしました。運転席をはじめ、全てのシートで、再現性にすぐれた美しい音をお楽しみいただけます。

(エスティマ・ライブサウンドシステム)スピーカーレイアウト



●フロントワイヤー ●フロントサブウーファー ●リヤワイヤー ●リヤサブウーファー ●リヤウィンドウ

バックウィンドウに、ふたつのアンテナを設置し、受信状態に応じて自動的に切り換え。走行時のFM受信状態を向上させるダイバシティFMアンテナ。インパネ中央上部に集中し、操作性を高めたスイッチ類。クリアで美しい音を再現するCDプレーヤー。さらに、12枚のCDを連続して演奏することが可能な、CDオートチェンジャー(※オプション)など。最新のオーディオシステムが、エスティマの室内をすばらしいサウンドで包みます。



(エスティマ・ライブサウンドシステム)CDプレーヤー・リヤウィヤー・リヤサブウーファー・リヤウィンドウアンテナ・リヤウィンドウアンテナ・リヤウィンドウアンテナ



ダイバシティFMアンテナ(リヤウィンドウ内上側)



CDオートチェンジャー(販売店設置オプション)

COLOR VARIATION



GARNET RED
TONING-G

カラーコンビネーションは
ガーネットレッド・オートニングG



TWILIGHT BLUE
TONING-G

カラーコンビネーションは
トワイライトブルー・オートニングG



SILKY PEARL
TONING-G

カラーコンビネーションは
シルキーパール・オートニングG

ALPINE SPRUCE
TONING-G

カラーコンビネーションは
アルパインスプルース・オートニングG



CHAMPAGNE BEIGE
TONING-G

カラーコンビネーションは
シャンパンベージュ・オートニングG



FLASH BLUE
TONING-G

カラーコンビネーションは
フラッシュブルー・オートニングG



SUNSET BROWN
TONING-G

カラーコンビネーションは
サンセットブラウン・オートニングG





写真は4WD ツインカムルーフトップ装備。カラーコンビネーションはガーネットレッド・ニードル・タリアンブルー。ディスプレイオーディオはオプション。

トヨタ エスティマ 主要諸元表

■車両型式・重量・性能

		2400 16VALVE(2TZ-FE)	2400 16VALVE(2TZ-FE)	2400 16VALVE(2TZ-FE)
車両型式	電子制御式2ウェイ・ 00付4速 フルオートマチック (ECT・コラム)	2400 16VALVE(2TZ-FE) ECT・コラム	2400 16VALVE(2TZ-FE) ECT・コラム	2400 16VALVE(2TZ-FE) ECT・コラム
車両重量	kg	1,770	1,730	1,860
車両総重量	kg	2,155	2,115	2,245
最小回転半径	m	5.7		
燃料消費率	km/l	14.8	14.8	13.7
	100km/15分走行 (100km/15分走行) (燃費改善後)	6.9	7.1	6.3

●燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。実際の走行時には、この条件(道路、運転、乗員、積荷など)が異なりますので、それに従って燃料消費率は異なります。
※アイドラー・付付燃費率を記載した場合15%増加します。

■寸法・定員

	mm	mm
全長	4,750	
全幅	1,800	
全高	1,790	(1,780)
ホイールベース	2,860	
トレッド	前 1,560	
	後 1,550	
最低地上高	150	(160)
室内	長 2,810	
	幅 1,635	
乗車定員	7	

()は2WD ()は4WD

※ツインカムルーフトップを装備した場合、それぞれ30mm増加します。

■エンジン

型式	2TZ-FE(2400 16VALVE)
種類	直列4気筒DOHC
使用燃料	無鉛ガソリン
総排気量	cc 2,438
内径×行程	mm 95.0×86.0
圧縮比	9.3
最高出力	PS/r.p.m. ネット 135/5,000
最大トルク	kg-m/r.p.m. 21.0/4,000
燃料供給装置	EFI(電子制御式燃料噴射装置)
燃料タンク容量	ℓ 75

●エンジン出力表示には、ネット値とグロス値があります。●「グロス」はエンジン本体で測定したものであり、「ネット」はエンジンと変速機に搭載した状態とほぼ同等で測定したものです。同じエンジンや変速機でも「ネット」は「グロス」よりも約15%程度低い値(約20%程度)となります。

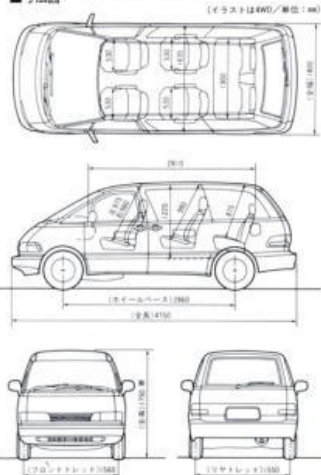
■変速比・減速比

	電子制御式2ウェイ・00付4速 フルオートマチック(ECT・コラム)
変速比	2.452
1 速	1.452
2 速	1.000
3 速	0.730
4 速	2.212
減速比	4.300

■ステアリング・サスペンション・ブレーキ

ステアリング	ラック&ピニオン
サスペンション	前 マクファーソンストラット式 後 マルチリンク式
ブレーキ	前・後 ベンチレーテッドディスク

■寸法図



●「ECT」は自社の登録商標です。

●道路運送車両法による新型自動車報告書製造業報告書(トヨタ自動車株式会社)